

これまでの総合教育会議の成果報告

学校図書館教育推進事業 (平成30年度協議テーマ)

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
令和元年度予算額	64,510			7	64,503
前年度予算額	62,371			3,893	58,478

事業目的	令和2年度の新学習指導要領を見据え、学校図書館へのアドバイス体制を構築するなど学校図書館機能の充実を図り、論理的思考力などの「生きる力」を身に付けた子どもたちの育成を目指す。
------	---

実施状況	<p>気軽に立ち寄ることができ、子どもたちが読書を通して論理的思考力などを身に付ける図書館を目指して、支援体制や環境の整備などの基盤づくり</p> <p>1 学校図書館支援室の設置</p> <p>4月から、教育センターに学校図書館支援室を設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導主事1名、学校司書兼支援員2名(未配置校21校を兼務) <p>ア 学校図書館活用ガイドラインの作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクトチームを組み、骨子を作成中 ・年度内に校務パソコンに掲載し、令和2年の研修会で説明予定 <p>イ 研修の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校司書研修会を年5回、司書教諭研修会を年1回実施 ・情報交換ソフトの説明や小中一貫教育グループ校ごとにわかれての意見交換、授業での学校図書館の活用事例の紹介等を実施 <p>ウ 全校への学校訪問による支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月と5月で昨年まで学校司書未配置校だった21校を訪問して現状を確認し、学校の要望を基に改善計画を作成 ・6月以降はその他の学校司書配置校104校のうち20校を訪問、今後も計画的に学校を訪問予定 <p>エ 「令和の教導石」の作成及び活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コラボノートを活用し、学校図書館支援室からの情報ページ、各校の学校図書館を紹介するページを作成 <p>オ 市立図書館と学校図書館の連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月から協力貸出の要件緩和、図書館職員による研修会を実施予定 <p>2 学校司書未配置校への対応</p> <p>ア 学校司書配置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月1回、学校司書2名が巡回指導を実施し、基本的な整備、廃棄、電算化、レファレンスなどを行う <p>イ 学校図書館にタブレット配備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏休み期間中の端末配備に向けて学校図書館のLAN接続の調査、準備
------	---



小中一貫グループ校の学校司書研修



学校司書未配置校の環境整備(清水両河内中学校)



レファレンス

事業効果	<p>○「同じ中学校区で交流できると参考になる」と他校の学校司書との情報交換や学校図書館支援室による指導助言により、各校の学校図書館機能の充実が図られつつある。</p> <p>○配架の工夫やレファレンスにより、スムーズに調べ学習に取り組む子どもの姿が見られた。</p> <p>○市立図書館が本の協力貸出の時間や受け取り館の要件を緩和したことで協力貸出の件数が増加している。(前年同期比 8校・約500冊増)</p>
------	---